

セッション「地区防災計画支援地区の取組み状況について」 地区防災計画の現状と課題

～セッションのすすめ方～



災害は忘れた頃に起こるともいわれています。

地区防災計画を活用して、いざというときに地域コミュニティごとに効果的な防災活動を実施できるようにすることが重要です。



東京大学生産技術研究所 教授
東京大学社会科学研究所 特任教授
加藤 孝明

1. 地区防災計画とは



内閣府HP

自主防災組織の
防災計画ではない

- 「どこでも, 誰でも, いかようにもつくれる」防災計画.
 - 形式に特に定めはない
 - 完璧でなくてもいい(課題を残したままでもいい) ⇔ 形式の完璧さ
-
- これまでの行政計画とは一線画す画期的な概念の計画
= (自治体にとっては難解な計画)



魂の入っていない
地区防災計画？

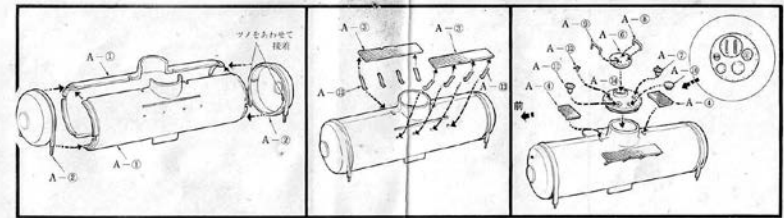
2. 地区防災計画のつくり方:ものづくりの2つの方法

ブリコラージュ

エンジニアリング的



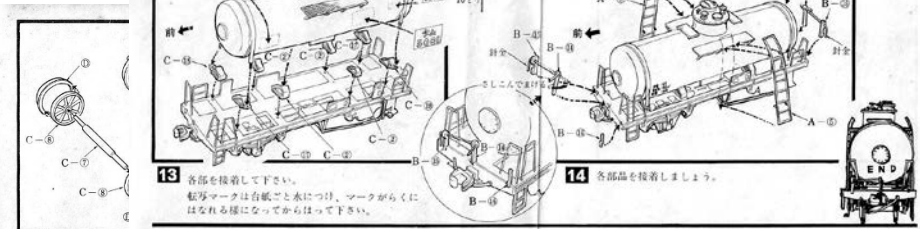
その辺にあるもので何とか上手につくる
(器用手仕事)



10 各部を接着する。

11 各部品を接着して下さい。

12 各部品を接着して下さい。



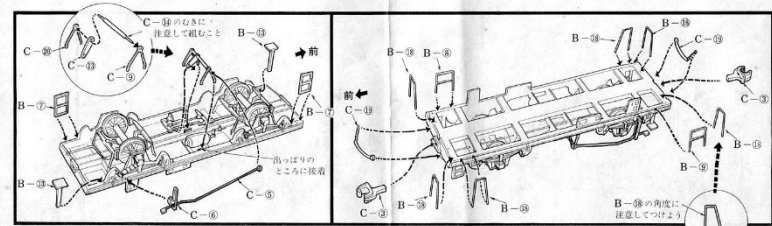
13 各部を接着して下さい。
転写マークは右紙ごと水につけ、マークがらくにはなれる様になってから貼って下さい。

14 各部品を接着しましょう。

5 各部を接着して下さい。

6 B-1とB-2をまらがえないように、
B-1は内側中央にホッチが出ています。
B-2を使います。

7 車輪をはめてB-10を接着する。



8 各部品を接着しましょう。

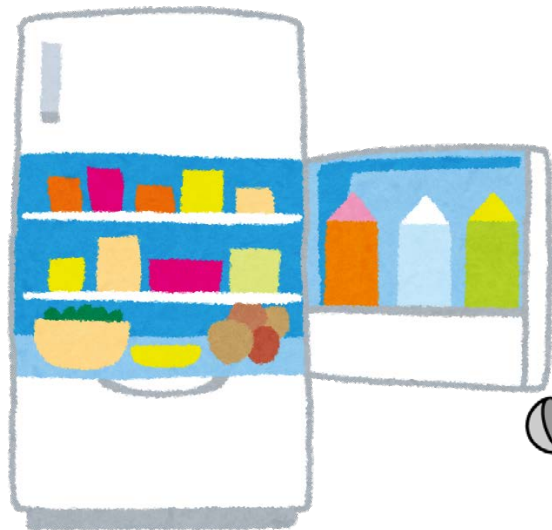
9 各部品を接着して下さい。

機能を定義 → 知識に基づいて設計
→ 必要な部品・道具を準備 → 組み立て

2. 地区防災計画のつくり方:ものづくりの2つの方法

ブリコラージュ

「①冷蔵庫をみて何をつくるか考える」



地域の素材

地域に合った
方法

料理の基本・コツさえ知っていれば、
(そこそこ)おいしい家庭料理をつくれる。

「さしすせそ」(砂糖, 塩, 酢, 醤油(せうゆ), 味噌)

知らなければ、どうにもならない。

エンジニアリング的

「②レシピを入手し、それに従って料理をつくる」

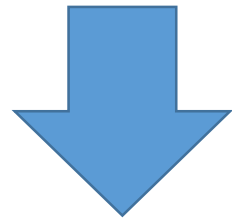


×レシピだけ入手し
作った気になる

材料や調味料が揃っていて、正しくつくれば、美味しい料理がつくれる。

材料、調味料が一つでも欠けていると、料理できない。
正しくつくったつもりでも、おいしくない場合がある。
でも調整できない。

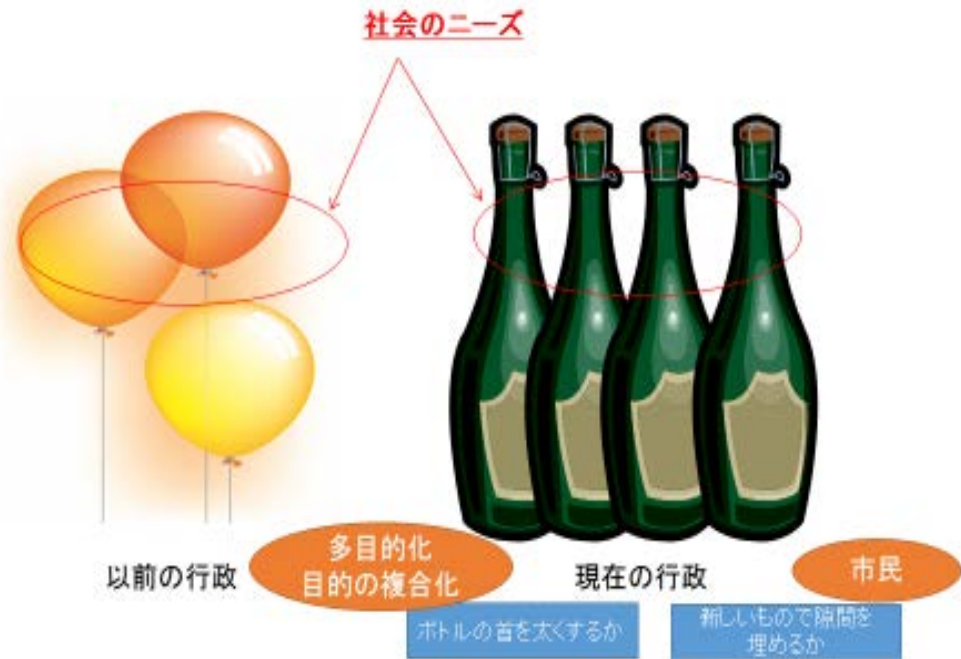
多様な地域特性



それに対応する
それぞれの「答え」

3. 地区防災計画の背景と目的(私なりの解釈)

- 背景: 既存の機能が縮む時代
- 目的: 現状の「いろいろな」隙間を埋める.
 - ① 新たな資源の発掘
 - ② 「つなぐ(連携)」による相乗効果
 - 多様な資源をつなぐ
(共助の持ち寄り)
 - 目的をつなぐ
 - $1+1 \neq 2 \rightarrow 1+1 > 2$



首都大学東京客員教授 竹村公太郎氏の説明をもとに作成

新しいモデルが創りだされつつある

旅館組合, 観光協会
ビル単位での取り組み.
地元企業の参画
団地, 企業, 学校での取り組み
福祉との連携, 等

●これからの課題

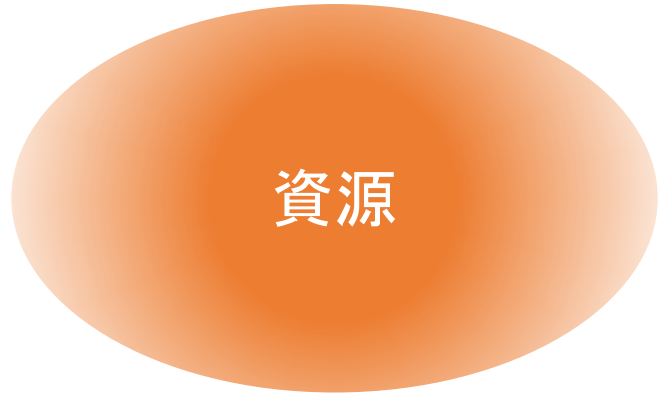
- 共助への盲目的期待は禁物

従来型の地域社会の衰えや限界も認識すべし

「共助ユートピア感」?



>



一方で、新しい変化の萌芽をとらえ、
対応資源を膨らませる工夫を創出する必要がある



普遍(共通)性 × 地域性

「経験・工夫・悩みの共有」

事例報告(7地区... 各6分+10分)

アドバイザー＝一緒に考える人

- 北海道えりも町
- 静岡県沼津市戸田(へだ)
- 兵庫県加古川市養田南(ようた)

- 早川氏(札幌市役所)
- 加藤(東京大学)
- 阪本(兵庫県立大学)

- 沖縄県北谷町(ちやたんちょう)
 - 謝苺(じゃあがる)区
 - 美浜区
- 沖縄県宮古島市
 - 伊良部南地区
 - 池間地区

鍵屋(跡見女子大学)